

自衛官募集相談員会と一体

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 倉橋准陸尉）は、4月1日（金）、川崎北自衛官募集相談員会が実施した相談員会勉強会を支援した。

本勉強会は、募集対象者の減少にともない募集相談員会として今後、如何に募集広報に協力していくかについて認識を共有する場合として行われた。会長の挨拶の後、所長自ら平成27年度の募集成果、平成28年度の募集広報の要領について説明し、募集環境の厳しくなる中、募集相談員会と一体となり募集広報に対する支援、協力を依頼した。特に今年度の具体的施策として、ポスター掲示場所の更なる提供、学校関係者、自治体関係者の紹介及び学校説明会への同行を依頼し、相談員との更なる連携強化確認した。



勉強会で挨拶する山田会長



新規の掲示板を提供する相談員

兄に続け！ 念願の高等工科大学に入校して

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井一海尉）は5月6日（金）、平成28年4月に陸上自衛隊高等工科大学へ入校した本間海聖生徒の近況報告を受けた。本間生徒は兄である本間大海生徒（28年）と同じ高等工科大学を目指し見事合格、平成28年4月に入校し、教育を受けている。

「入校時から今まで、とても忙しい1カ月で体重が少し減りました。ゆっくりできる時間はほとんどありませんが、靴を磨いている時間がリラックスできる時間です。休暇明けから部活動が始まるので、ラグビー部で頑張りたいです」と充実した表情で近況を語った。

厚木募集案内所は、「今後も、入校までの関係ではなく、入校後も気軽に訪問できるように関係を築いていきたい」としている。



入校式当日に記念撮影
左から父・兄（大海生徒）
・海聖生徒



入校式後に撮影

自衛官募集相談員が学校訪問に同行し、連携強化に寄与

神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 平原一陸尉）は、6月9日（木）、県立松陽高校（横浜市泉区）を訪問し、校長に平成28年度自衛官募集に関する概要説明を行った。

本説明は、当事務所が毎年高校生の募集解禁に先立ち、今年度募集状況に併せて、各種自衛隊イベントやオープンキャンパス等の案内を行っているものである。今回は、地域担当の自衛官募集相談員も同行して頂いたため、学校側も地元有力者の訪問に学校側も当初戸惑いが見られたが、校長自ら出迎えて、昔話など交えながら和やかな雰囲気での面談となった。当校は進学校ではあるが、近年自衛隊の受験実績がなく、これまでは受験には消極的ながらも、防大や防医大の説明を真剣に聞いている姿は、今後の志願者獲得に期待できる有意義な説明となった。

上大岡募集案内所は、「今後も、募集相談員と連携した学校訪問を継続し、自衛隊に対する学校の理解を得るとともに、優秀な人材確保のため努力していきたい」としている。



横浜市内の公立高校で同行した
地域担当相談員（中央）